

【美術・中学校2年・「静物画」】他

2年美術（静物画）

カメラ機能・学習支援ソフト



【活用①】 構図を決めて端末で撮影→端末を見ながら絵を描くことも可能

ICT活用のNice



- カメラの画面の中で構図をとりやすい。
- 納得いくまで何度も取り直しができる。
- 印刷の必要がない。

【活用②】 毎時間、授業終わりに作品を撮影→学習支援ソフトで提出



ICT活用のNice

- 【生徒】
- 制作途中の記録が残る。
 - 友達の制作過程を共有することができる。
- 【教師】
- 活動の様子を見取り、次時の指導に生かせる。
 - 教師機で名前を「非公開」にする配慮も可能。



2年国語（短歌）

学習支援ソフト



自作の短歌とともに工夫点を記入して広場に提出。友達の作品を見てコメントを書き込んでいます。

「深い学びボタン」を使い、学習の振り返りをしています。複数選ぶこともでき、教師機で集計も可能です。



3年音楽（声域調べ）

学習支援ソフト

5人程がピアノの周りに集まり、教師が出したピアノの音に合わせて声を出します。



声の出せた音を端末上でチェックしていきます。生徒が分かりやすいように、画面の鍵盤には数字も付られています。



1～3年 お帰りドリル

A Iドリルソフト

帰りの会の中で、5分間実施します。

「お帰りドリル」としてプリントで行っていましたが、端末の導入に伴いA Iドリルソフトに置き換えたことで、プリントの配布や丸付けの時間がなくなりました。

1日5分、2週間で50分！毎日の積み重ねは重要です。

お帰りドリル		予定表				
月	火	水	木	金		
国語	数学	社会	理科	英語		
深2-2	1-2	地5-1	1-1	1-1		
深2-1	1-1	地4-1	1-2	1-2		

ポイント

各クラスに「お帰りドリル係」がいます。予定は授業の進み具合が分かる係の生徒と担任で話し合って決めていきます。



今日は「英語の3-2」です（係の生徒）